

第2次横手市子ども読書活動推進計画（案）にお寄せいただいたご意見と、市の考え方

1. 募集期間 平成31年2月14日（木）～3月15日（金）
 2. 提出者 3名

No.	項目	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方
1	全般	平成34年度目標などの表記があります。 全頁を西暦表記に統一した方がよいと思います。	ご意見を受け検討の結果、『年や年度表記は、「西暦」を基本とする』としました。 但し、名称の一部となっているもの等、例外的に元号表記としている箇所もあります。
2	全般	本計画書案は、代表的な読み聞かせボランティアグループを入れて策定されたものでしょうか。そうでない場合は、ボランティアグループを入れて策定願います。	策定プロジェクトチームに読み聞かせボランティアグループは入っておりませんが、横手市図書館協議会委員に読み聞かせボランティアグループの方が3名おり、協議会の際にいただいた意見を計画（案）に盛り込んでいます。 第3次計画策定の際には、プロジェクトチームの構成について、改めて検討します。
3	基本目標1	中学生ぐらいになると、1日の自分の生活の時間割を作れるようになると思います。 読書の時間をあてはめたモデルケースを作ってみるのも面白いと思います。 (1日のうち、どの時間帯に読書の時間を割り当てられるか)	非常に興味深いアイデアと思いました。 しかしながら、中学生の生活も多様化していると思われるので、計画の中に直接モデルケースを入れ込むことは難しいと考えます。 計画実践の中で、各中学校における取り組みとして、生徒各自に1日のうち「こんなときに読書する」という時間を考えさせる活動は、あり得ると思われます。
4	全般	本に触れるという活動は大事だと思います。私も、ここ数年いままでとは違うジャンルの本を手にしたりのようになります。	今のところ、横手市において、市立図書館においても学校図書館においても電子書籍は所蔵していないため、今回の計画に電子書籍を盛り込むには至りませんでした。第3次計画以降でも、書籍・

	<p>ところで、この読書推進活動計画には、『電子書籍』などが含まれていないように感じ取れますがどうなのでしょう？</p> <p>本へのアプローチの仕方は様々です。偏ったアプローチではなく誘導できる施策にさせていただきたいと思います。</p> <p>全体として、施策（案）というよりも、資料をつくるための資料を見せられているような感覚を受ける内容でした。</p>	<p>読書に関する時代の変化をそのつど反映させていきたいと考えます。</p> <p>計画（案）自体は基本的・骨子的な記述ではありますが、今後5年間、計画実践を通して具体的な成果が得られるよう、努めて参ります。</p>
--	--	--